

商店街「空き店舗」対策で地域の活性化

福生市は、空き店舗対策を戦略的に推進していくため、以下の事業について、補正予算案として 9 月議会に上程する。

なお、経費は、国の緊急雇用創出事業を活用する。

空き店舗から地域ブランドを発信

<地域ブランド発信モデル事業> 交流自治体も参加する広域的な実験店舗

【概要】

空き店舗において、福生市の地域ブランドである観光資源を紹介、宣伝する。

また、交流のある北海道登別市、滋賀県守山市の地域ブランドも合わせて紹介していく。本事業は、22、23 年度のモデル事業として位置づけ、集客人数、顧客ニーズ等の情報を分析し、今後の市の観光行政及び商店街振興に生かしていく。

運営形態は委託とし、店舗への集客方法、店舗での観光資源の宣伝方法をポイントに、プロポーザル方式により業者提案してもらい、最も適切な業者を選定する。

・運営は、火曜日から日曜日まで(祝日含む・月曜日休み)とする。時間は午前 10 時から午後 7 時までを想定。

・福生市の観光資源 PR コーナー

交流スペースも設置、観光ガイドによる名所、名産品、散策コース等の案内

・交流自治体の観光資源 PR コーナー

・名産品等で、在庫管理が可能なものは直接販売する方向で検討。

・イベントの実施

・交流自治体の地域ブランド紹介パンフの作成

・集客数、名産品別売上、店舗でのアンケートによる顧客ニーズの分析

本事業の予算 6,401 千円

空き店舗の実態を調べます

商業集積地における空き店舗及び事業者の実態調査

【概要】

・シャッターが閉まっている店舗の実態調査

テナントとして活用するか、オーナーの意向確認

・営業中の店舗経営者の調査

事業継続等の意向確認

本事業の予算 2,200 千円

(担当)生活環境部 地域振興課 電話 042 - 551 - 1699 (直通)